

2023

# 同友しずおか 1

「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった!」

VOL.530

## 賀正



～互いに支えあい、励ましあい、援けあう～

私たちは地域にあってよかったと言われる同友会であり続けます



静岡県中小企業家同友会



代表理事 筧 威 頼

(株)アサギリ 代表取締役

バックキャストで未来を創ろう

謹んで新春のお慶びを申し上げます。新たな年になっても、依然として新型コロナウイルス第8波の影響・動向をはじめ、ロシアによるウクライナ侵攻、資源・原材料の高騰、気候変動等、国内外の経済・社会、そして地域経済・社会もまた、激しく変化しています。一方、SDGsや「ビジネスと人権」など、新たな経済・社会のあり方をめざす動きも広がりを見せています。

2023年は、「癸卯（みずのと・う）」一年です。癸卯には、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起のよさの意味が込められているそうです。会員企業の皆様におかれましては、現状の延長ではなく、ありがたい未来から現在のあるべき姿をバックキャストして自社を創造し、時代の変化、環境の変化に対応した希望溢れる未来を描き、自社経営に落とし込んでいく「癸卯年」にしていきましょう。静岡県中小企業家同友会においても、地域社会・地域経済からの期待は年々高まりを見せ、私たち同友会が地域に果たすべき役割は、今後の企業づくり・地域づくりにとって益々重要なものになってきております。2021年度から始動した「静岡同友会2025年ビジョン」を旗印に、県下それぞれの地域の中で魅力溢れる企業が増えることは、その地域の社会・経済を一層活性化させることに繋がります。このビジョンは「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」の3つの視点で構成していますが、それぞれのビジョンは密接に繋がっています。そのビジョンの一つ、県下会員1500名の達成にむけて、「会員増強が地域における最大の地域貢献」と一人ひとりが認識し、自社のため、地域のため、地域で頑張る経営者を同友会に誘いましょう。

結びに、本年が、皆様にとって安心と希望にあふれる一年になること、そして、同友会運動の益々の発展を祈念し、新年の挨拶といたします。



会長 遠藤 一 秀

(遠藤科学(株) 取締役会長)

迫りくるスタグフレーションを乗り越える覚悟を持つ

新年明けましておめでとうございます。去年も波乱に満ちた一年でした。2020年からのコロナ感染は収まるどころか年々拡大し、20年23万人、21年150万人、2022年には2,690万人と指数級的に増加しました。社会経済活動を制限して感染拡大を抑える方針も、経済回復との両立を図る方向へ転換せざるを得ない状況です。実際的には、ロシアのウクライナ侵攻、世界的な食糧・エネルギーの逼迫、米中の覇権競争の深刻化、物流・供給網の混乱等が、国内では元首相の銃撃事件をきっかけに政治問題化した旧統一教会問題、発足一年足らずで支持率が低下し基盤が揺らぎだした内閣等々、国内外とも波乱・混乱含みの年越しとなりました。

年明けの経営環境をみると、30年ぶりといわれる物価上昇を特記すべきでしょう。日銀公表の企業物価指数は毎月10%近い急騰が続く、消費者物価の上昇も日銀が目標としてきた2%を超え3%を上回る様相を示しています。仕入価格や原材料費、エネルギー価格等が10%近く高騰し、消費者物価がそこまで上がっていない状況からも企業家にとっては厳しい経営環境です。平成バブルが崩壊して30年。この「失われた30年」の間、日本はデフレ経済が続いてきました。会員皆様の多くは「毎年、物価が上がる、給料も上がる、売上も増加し、GDPも増える」インフレを経験したことがありません。現在の物価上昇は需要の増加がけん引する「良いインフレ」ではなく、景気が停滞しているのに物価が上がる「悪いインフレ」です。1970代に英米が陥ったスタグフレーションに日本は陥ろうとしています。これに乗る必要には、果敢な改革・革新と、時として血の出るような合理化が必要で、今年を歩まれることを期待して、新年の挨拶といたします。



# お客様の声から 新商品の開発へ

(株)仕出しおがわ (富士支部)  
代表取締役 小川 友代氏



お客様の声から生まれたお弁当

生きることは食べること  
理念に込めた未来に繋がる会社  
への決意

(株)仕出しおがわは1957年に創業し、65年の歴史ある富士市の仕出し屋さんです。現在の事業構成は給食90%、仕出し10%です。地元では以前から名の知れたお弁当屋さんで、富士市を中心に宅配を行っています。もともとはご主人が同友会の会員でしたが、5年前に亡くなり、急遽小川友代氏が事業を継ぎ会員になりました。当時のことを聞くと、急遽経営を継ぐことになったため危機感を感じていたらと小川氏。入会後はすぐに経営方針の成文化に取り組みました。経営は右も左もわからない中、会社を未来に繋げる一心だったと言います。私も小川氏の経営方針作成の過程に関わり、その「食」をめぐる純粋な意気込みと熱意に素直に感動しました。

食にこだわりあり！  
食の安全を重視し「健康志向」

同社で提供されるお弁当には、



長期保存が可能な冷凍のお弁当

家庭の台所に無いような添加物は使っていません。梅干し・漬物も天然色素を使用しています。健康に留意した献立、季節の薬膳弁当、アレルギーを考慮した食材使用から調理方法（例えば通常のおかずを揚げた油と分けるなど）など、お客様に安心して食べて頂けるお弁当づくりをしています。小川氏は健康と安心を届ける思いから2022年に日本中医食養学会認定の「中医薬膳指導員」の資格を取得。また、富士のふもとのグルメコンテスト2010年・2011年と2年連続金賞を受賞したこともあります。

常にお客様の声を聴き  
「すべて手づくり」のお弁当

ハンバーグやつくね、コロッケ、メンチカツなど、多くの食材を1から作っています。お客様の声を聴く姿勢を大切にする小川氏。「スイーツがんと弁当」「いろいろどりみどり弁当」「季節の富士産 薬膳弁当」と新規格商品が次々に誕生しています。また、市役所から委託を受けてお年寄り家庭向けに「富士市食の自立支援事業」や、同友会会



新しく導入した冷凍設備



お弁当箱が整然と並ぶ製造工場

員からのアドバイスで誕生した「産後ママ応援弁当」など、取り入れて商品化しています。  
SNSを利用して売り上げUP!

Instagram、Facebook中心にSNSを利用することで、近年シェアと知名度を広げられました。小川氏のご息女がWEB活用の熟練者です。SNSの反響は予想以上に大きいようでした。これからの時代では広報を担う社員の雇用は欠かせないと感じました。

新規事業として「冷凍事業」を展開予定

2023年1月5日から「おがわのしろくま弁当」を発売予定です。ものづくり補助金を活用し、予てより検討していた冷凍機器導入を実現しました。通

常のお弁当は長期保存ができません。保存が可能でいつでも作り立てのおいしさを味わえるお弁当を提供したいと考えていた小川氏。そのような中コロナ禍に直面し、配送がしづらい状況に直面しました。お客様からの声もあり、冷凍機器導入を決断。「おがわのしろくま弁当」はまさにお客様の声を実現するための商品です。

今後さらなる飛躍を目指して、新工場の建設という夢にむかって進む小川氏。後継者もすでに決まっておられ、その積極的姿勢はとどまるところを見せません。富士一、静岡一の仕出し屋さんになることを影ながら応援しています。

取材・記事：佐藤義幸氏  
(松本工業(株)・富士支部)

## (株)仕出しおがわ

〒417-0001 静岡県富士市今泉2527-2

TEL：0545-52-3621

URL：https://fuji-sidasi.com

創業 1957年

社員数 31名

入会年月 2017年4月

事業内容 各種仕出し料理・給食  
富士市 食の自立支援事業委託事業所

お客様の人生に寄り添えるプロでありたい

(株)CROSSFACT  
代表取締役 富士宮 正就氏 (三島支部)



富士宮 正就氏

独立開業までの道のり

富士宮氏は大学卒業後地元を離れ、東京で学ぶ気概を持ち東京の地方銀行に入行しました。銀行業を選んだのは、様々な業種・業態を学ぶことができ、経営トップと直接コミュニケーションがとれるからだっただけです。最初の配

今回は三島市で法人向け保険代理店を経営する(株)CROSSFACTへお邪魔しました。

属は、下町エリアである西新井の支店。新規開拓で江戸っ子気質の経営者に可愛がられ、鍛えられてきました。当時の銀行は、融資先の開拓よりも投資信託などを売る方針になり始めた頃で、業界の変化を感じるのと同時に、自分がやりたかった「経営をファイナンスの面からサポートし、共に成長してゆく」とは違う業務に違和感を感じていたそうです。それからほどなくして地元に戻

ることを決意し、A-U(現AIG)損害保険会社への転職を選びました。A-U損害保険は、法人営業を基本としており、縁故知人営業はNG。独立開業を支援する制度があり「主戦場はここだ」と決めたそうです。独立開業までの道のりとハードルは高く苦労するも、5年後、32歳の時に独立しました。

修行時代のエピソード

A-U損害保険では沼津支店に配属され、周りに知り合いもコネもなく、全くゼロからのスタートだったと言います。最初は電話営業に明け暮れるも、1日に400〜500件かけても1件アポが入るかどうかの世界。最初のお客様は沼津市内の美容院でした。実地研修で沼津市内を飛び込み営業していた際にその美容院と出会います。お客様のカットが終わり手が



人生に寄り添うことへの想いを語る富士宮氏(右)

空いたタイミングで挨拶したところ「ハサミを扱っているので、万が一お客様にケガを負わせてしまった場合に何か備えたかった」という悩みが聞け、その場で提案した賠償責任保険を即決で決めていただいたのが人生初契約だったそうです。今でもお付き合いがあり「当時の苦労を思い出すと感謝してもきれない」と話します。

将来はファンド組成し、FPのプロフェッショナル集団として活躍したい!

銀行時代の金融知識と経験を活かし差別化戦略を図る富士宮氏、今後はFP(ファイナンシャルプランナー)の金融知識を活かした事業にも注力していきたいと言います。そして将来はIFA(金融商品仲介業)として金融商品の案内を行い、ゆくゆくは金融商品取引業としてファンド組成をしていきたいそうです。「日本独特の金融制度からお客様に合った金融商品を提供できるようにするのが目標。そのためには資格取得や求められる要件のハードルは高いが、チャレンジ精神を燃やせるのも魅力」と語ります。そして、「自分に関わって頂いたお客様が幸せになるプロフェッショナル集団を作っていきたい。職業としての保険業ではなく、独立したからには、自分が責任を持ってその人生に寄



仕事風景

り添えるプロでありたい」と将来の展望を話してくれました。

取材・記事：増田隼人氏  
(株)集客デザイン研究所・三島支部

(株)CROSSFACT

〒411-0855 三島市本町12-22 本町第一ビル304  
TEL : 055-955-6697

設立 2019年  
社員数 2名  
入会年月 2020年11月  
事業内容 保険代理店、  
ファイナンシャルプランナー業務

会員訪問記

お客様の笑顔を創りたい

(株)中岡建設  
 総務営業マネージャー 中村 紘基氏 (浜松支部)



公共工事の河川ポンプ施設の建設現場

歴史ある企業として

(株)中岡建設は、建築工事一般を請け負う企業として中村四郎氏が創業。2代目の中村公保氏が公共土木工事を主とする業態に変更しました。そして3代目となる現在の代表取締役の中村浩之氏が、それまでの実績で培った信頼と技術

により、民間の土木工事、一般住宅の外構工事にまで業務を拡充し、昨年、創立70周年を迎えました。現場監督から技術者までを一貫して雇用しているため、迅速に対応できることが強みです。お客様に安心感を持っていただき、周りに必要とされる人、企業になると思いを掲げ、地域密着型企業として

成長を続けています。

「無駄になる経験はない」と信念を持って

会員である中村紘基氏は、現代表取締役の長男であり、後継者です。ただ、当初は与えられた立場よりも、自身で立場を掴み取りたいと考えたと同氏。そのため、同氏は高校を卒業後、中学生の時から取り組んでいた自転車競技のプロを目指して単身イタリアに渡り、現地で言葉を学びつつ、さらに現地でチームを探し、本場のレース環境で切磋琢磨してきたと言います。しかし、2代目代表取締役(当時は会長)であった祖父が病で倒れたこと、自身の怪我のタインングが同じであったことから帰国を決意。その後同氏は、偶然の縁から浜松市内の菓子製造を業務とする企業に勤めることになり、そこで海外向けのプロジェクトに携わります。自転車競技では、風の影響を避ける目的で、競技者は先頭走者を交代しながら走るため、チームワークが求められることか

経営理念

正道を誠実に歩み  
 お客様と全社員の幸せを追求し  
 地域社会へ貢献する

基本方針

商品に対する方針  
 お客様の真の要望を引き出し、本当の悩みを解決します

お客様に対する方針  
 経営理念



地域の景観維持活動にも協力



入社後1年間は現場作業員を経験

「正道、誠実、貢献」を掲げる企業の後継者として

しかしながら、中村氏は祖父の葬儀を機に、当初持っていた「与えられた立場よりも、自身で立場を掴み取りたい」との考えを改めます。社長の息子だから簡単に継げると思われたくない、という考え自体がそもそも甘えだったと語ります。そして現代代表取締役の経営理念に改めて感銘を受け、(株)中岡建設を継ぐことを決断したそう



経験を活かして母校で進路相談を実施

です。同氏は現在25歳。同友会では、先輩経営者の本音の声を聴き、そこから貪欲に様々な学びを吸収。そして、その活動を通じた経験を、4代目として事業を継いだときに活かしていきたいと言います。最後に「人は生きていく上でその人の立場でしか分からない苦労や犠牲にしなければならぬ時期があるが、どんな状況でも本当に大切なことを見失ってはならない。それは経営者も従業員も同じ。いつか社長になったときにもこのことを忘れないようにしていきたい」と話してくれました。

取材・記事：大杉卓也氏  
 (大杉卓也行政書士事務所・浜松支部)

(株)中岡建設

〒432-8064 浜松市南区倉松町432  
 TEL：053-448-5411  
 URL：n.hiroki@nakaoka-kensetsu.com  
 創業 1952年  
 社員数 20名  
 入会年月 2021年4月  
 事業内容 道路・公園・下水道等の  
 公共土木工事／一般住宅の外構・  
 宅地造成・舗装工事等

# 第19期経営指針を創る会 経営指針発表会

経営者としての決意を新たに、経営指針の実践による自社の発展を誓い合う

11月26日(土)～27日(日) 参加：25名

静岡駅前会議室LINK・レイアップ御幸町ビル貸会議室・ZOOM

本年6月から全12講に亘り開講した第19期経営指針を創る会（※以下創る会）。受講生10名が第1講から経営者としての自身、自社を見つめ直し、受講生・修了生が真摯に議論を重ねてきました。

1日目は、受講生がこの間に明確にした事業分析、事業戦略、自社の存在意義、将来のビジョンを経営理念や経営計画に落としこんだ経営指針書を発表。参加者全員で議論を交わしました。2日目は前日の議論を経て固まった決意や変更点を発表しました。

最終講である本発表会は、仲間と共に本音で語りあい、互いに思いやり、励ましあい、切磋琢磨して創り上げた経営指針書実践のスタートの日となりました。第19期受講生2名から感想と今後の経営への意気込みを頂きましたので紹介します。



## 〈受講生感想〉



今回の受講にあたり、スタッフの皆様、事務局の皆様、そして同期の皆様の協力なしでは、経営指針書の発表には至りませんでした。心より感謝申し上げます。受講当初は自己や自社の分析の要領がわからず、自身の何を表現すればいいのか、自分は何がしたいのか？会社のこの先に何があるのか？といった、どの答えが正しいのか？と想いが迷子になっていました。そんな折に台風15号による水害に合い、同友会の皆さん、特に同期の皆さんには温かい支援をいただきました。そして社員の前向きな言葉と姿勢に、私はやるべき事と決意が固まり始め、経営指針書を創ることができました。オノケンの挑戦が今期から始まりました。また、創る会に参加して何より同じ想いの友を得られたのは最高の宝物となりました。

小野 杜俊氏（オノケン材塗装㈱・静岡支部）



会社の代表となって3年目を迎え、今までになく売上が減少し、何か変えなければ、と思うもののどうしたらよいかわからない、そんな大きな不安に襲われました。「とにかく何かヒントが欲しい」と藁をもつかむ想いで飛び込んだのが第19期経営指針を創る会でした。この半年間、時には深く掘り下げ、時には広い視点で、ひらすら会社や自分自身に向き合いました。課題に取り組む中で度々壁にぶつかりましたが、いつも同期の仲間やスタッフの方が自分事のように一緒に考えて下さいました。その経験を経て、以前の「どうしたらよいかわからない不安」は「解決していくべき課題」に変わっていきました。そして、自社の未来を想像してワクワクするようになりました。こうして経営指針を創り上げた今、ようやくスタートラインに立つことができました。これから社内で発表した時、様々な反応があると思いますが、その反応も含めて社員の皆と共に経営理念・経営指針を育て、皆が同じ方向に進む為の羅針盤にしていきたいと思えます。

関 那積氏（㈱中部特機設備・静岡支部）

## 2025年ビジョンの実践

【第17回】

「2025年ビジョンの実践」では、ビジョンプロジェクトメンバーが静岡同友会2025年ビジョンを自社の未来と重ね合わせ、いかに実践していくかをコラム形式で毎月掲載していきます。

## 「地域づくり」と自社の発展

### 2025年ビジョンに掲げる

富士宮清掃は地域に住む全ての市民が、快適で安心安全に暮らせる地域社会の構築の為に貢献することを我が社の存在意義として事業活動を行っています。その為に、家庭ごみを収集運搬する際には市民が我が社のゴミ収集車を見かけるだけで安心出来るよう、日常の業務はもちろん、収集車にAEDを搭載しての巡回、市の行う見守り安心事業、認知症サポーター事業への協力や、地域との災害支援協定の締結や循環型社会形成の為に啓発活動等多岐にわたる活動を行っています。こうした様々な地域連携を行う事で、富士宮清掃という企業が無ければこの街の持続的な発展は無い、言い換えると地域に無くてはならない企業づくりをしています。

更に昨年からは別会社を立ち上げ、地域の発展や活性化に繋がる新しい事業展開が出来るよう様々なスタートアップを模索しています。長年の地域社会への貢献という信頼の基に地域に足りないサービスや新たな取り組みを立ち上げる中で地域の市民や地元企業と連携し、新しい仕事や雇用を生み出すと同時に、本業である収集運搬事業で長く働く社員さんたちが安心して継続雇用出来る仕組みづくりも模索しています。

静岡同友会2025年ビジョン「地域づくり」には地域との連携により、人々の幸せが見える地域づくりが掲げられています。今後も地域からの期待に応え続け、人々の生活基盤を支える企業づくりに邁進していきます。

穂坂 勝彦氏（富士宮清掃㈱・富士宮支部）

# 「女性部ダイヤモンドカレッジ」

## 第1回オープンニングセミナー

〜共に磨きあい輝く未来を創ろう〜

12月7日(水)レイアップ御幸町ビルとZOOMにて「女性部ダイヤモンドカレッジ」第1回オープンニングセミナーを開催し、会員・ゲスト合わせて38名が参加しました。「女性部ダイヤモンドカレッジ」は、女性経営者がお互いに切磋琢磨し、成長できる居場所をつくっていかうと立ち上がった勉強会で、年4回の活動を予定しています。第一回は(株)吉村の橋本久美子氏(東京同友会代表理事)が報告。紙茶袋を製造する会社として創業した(株)吉村、茶葉が売れない時代に事業承継しますが「尖る」ことを大切にし「茶業界のビジネスパートナーになる」ために様々なことに取り組んでいます。また、「レットテルではなく行動をみる」など社員と関わる中で心掛けていることや、社員の主体性を引き出すために取り組んだことを話しました。報告後の座談会では橋本氏への質問が飛び交い、和やかな雰囲気です。2月3日(金)開催予定、新社屋を開設した山崎かおり氏(株)山崎製作所・副代表理事/静岡支(部)の報告と企業見学を行います。



座談会で感想を共有

# 静岡大学連携講座

### 第4講

10月26日(水)

## 時代と共に変化し続ける!

### お茶屋はやすらぎ提供業

講師：齊藤 大介氏

(株)齊藤園・御殿場支部

御殿場市で深蒸し茶の販売店を営む(株)齊藤園。家業を継ぎ代表になり、変えなかった部分は(株)齊藤園ならではのお茶の「味」とお客様との関わり、変えた部分は情報の電子化・効率化やオンラインショップの立ち上げ、デザイン・ブランド力の強化と話しました。また、「健康」を切り口にお茶の魅力PRをしたいと自ら「ダイエット検定」を取得、SNS等での情報発信を行っています。最後に学生に「どんな仕事でも目的をもって、楽しんでほしい」とメッセージを送りました。

### 第5講

11月2日(水)

## 「働いて生きる」と「遊ぶ」と

講師：遠藤 健正氏

(有)大橋商事・中遠支部

磐田市で廃棄物処理業、再生资源買取業を営む(有)大橋商事。遠藤氏が同社で働き始めるまでの経験、働き始めてから見出した働く意義と「生きる」ことへの考え方を話しました。学生時代に困窮した生活を経験した遠藤氏。生きる中では常に選択することが求められます。「正解を探そうとしなくていい。選んだ道を正解にしていけばそれでいい。最後に幸せと思えばそれがその人にとって正解になります。」と学生に伝えました。

### 第6講

11月9日(水)

## ワークライフバランスの実現へ!

### 中小企業だからできる取り組み

講師：宮本 浩氏

(大栄工業(株)・志太支部)

大栄工業(株)は焼津市で冷蔵倉庫の防湿・防熱工事 各種防水・シーリング工事 防熱・防水資材の販売事業を展開しています。学生時代の経験からワークライフバランスが重要と考える宮本氏。事業を継いだ後も社員の仕事へのやりがいと働き方を常に考えています。県共同求人委員会のYouthie事業にも積極的に参加し、地元(株)の学生へ地域の中小企業の魅力を発信しています。学生に「将来の夢や10年後のビジョンを掲げてほしい」とメッセージを送りました。

### 第7講

11月16日(水)

## 人生で達成したいこと

講師：渡瀬 亜由子氏

(夢トロッコ・浜松支部)

浜松市でパソコン教室の運営やWEB制作などを行う夢トロッコ。渡瀬氏は様々な職歴を経て、WEB制作の仕事に可能性と楽しさを見出し創業します。ケアで動物や自然と触れ合い、人々の生活を目的としたこと、「自然やいのちを大切にしたい」「自然やいのちを大切にしたい」「自然やいのちを大切にしたい」という人生の目的が明確になったと言います。「やりたいことがない人も、それを探す道を楽しむ気持ちで色々なことに挑戦してほしい」と学生に伝えました。

### 第8講

11月30日(水)

## 地域・感謝・商売

講師：土屋 順史氏

(有)土屋装飾・伊東支部)

伊東市で住宅リフォームとイベントの専門店を営む(有)土屋装飾。高校卒業後、一般企業への就職を経て家業へ入りうになった頃、家族で会社について話をする機会がありました。そして(有)土屋装飾を残したい思いから事業を継ぐ決意をしました。土屋氏は常に企業としてどのように感謝を地域に返すことができるかを考え経営しています。「仕事・人生ともに人間関係が大切。仲間との交流を増やし充実した生活を送ってください」と学生に伝えました。

### 第10講

12月14日(水)

## Mission「我々は、何のために生きるのか?」

講師：小塚 辰巳氏

(小塚建設(株)・榛南支部)

牧之原市で建築・土木施工管理から住宅販売など総合建設業を営む小塚建設(株)。親や親戚から話もあり、学生の頃から会社を継ぐ意識を持っていました。大学卒業後、家業へ入社。33歳で事業を継ぎました。業界で発生した耐震偽装問題、リーマンショック、コロナ禍と厳しい環境を乗り越えてきました。厳しい時も常に考えていたことは、生まれてきたからにはMissionを持ち成し遂げるという意識です。学生に「自分のMissionは何か意識して生活を送ってほしい」と伝えました。

# 1月・2月

## DOYU CALENDAR

1月16日(月)～2月15日(水)

1月 18日(水)	伊東例会 (19:00 未定) 御殿場例会 (19:00 エピ・スクエア&ZOOM) 志太例会 (18:30 藤枝市文化センター&ZOOM)	2月 1日(水)	総務財務委員会 (16:00 同友会事務局&ZOOM)
19日(木)	外国人正社員雇用促進セミナー (19:00 牧之原市商工会) 富士宮支部 新春例会 (18:30 オブリック棟4F COMFORT HALL) 中遠例会 (19:00 ワークピア磐田)	2日(木)	正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
21日(土)	沼津例会 (19:00 FDI バンケットホール)	3日(金)	女性部ダイヤモンドカレッジ (14:00 株山崎製作所)
23日(月)	三島例会 (19:00 未定)	7日(火)	県広報情報化委員会 (19:00 ZOOM)
24日(火)	県例会企画委員会 (18:30 ZOOM)	8日(水)	御殿場例会 (19:00 エピ・スクエア&ZOOM)
26日(木)	県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM) 県組織増強委員会 (17:15 同友会事務局&ZOOM)	9日(木)	浜松例会 (19:00 ザザシティ浜松)
27日(金)	イントロセミナー (19:00 同友会事務局&ZOOM) 富士例会 (19:00 富士パークホテル)	10日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川&ZOOM)
		14日(火)	静岡例会 (19:00 未定)
		15日(水)	伊東例会 (19:00 未定) 沼津例会 (19:00 プラサヴェルデ&ZOOM) 志太例会 (19:00 藤枝市文化センター&ZOOM)

《 あなたのスケジュールノートに  
必要事項をご記入ください 》



### 県障がい者問題委員会 クリスマスバザー

社会福祉に役立てるため  
会員企業より集めた商材を販売

12月17日(土)に青葉公園シンボルロードにて、静岡市ボランティア団体連絡協議会主催の「第22回いのちぽかぽか街かどクリスマスマス2022」に県障がい者問題委員会が出店し、会員企業から提供頂いた商材を販売しました。バザーでの売上金74,800円と榛南支部からの寄付金33,279円合わせて108,079円は、社会福祉に関わる団体へ寄付いたします。

ご協力頂いた皆様、誠にありがとうございます。ごまじまじお待ちしております。

## イントロセミナー毎月開催中！ぜひご参加ください！

### ★静岡同友会は2022年度1200名を目指しています！★

オブザーバーや新会員に同友会を知ってもらう機会として、また、自社経営の発展に向け変革に挑む仲間との交流の場としてイントロセミナーを毎月開催しています。

本行事では、同友会の組織、活動、行事内容、参加方法をお伝えし、その後、例会の流れを体験する時間を設けています。お知り合いの経営者と一緒にぜひご参加ください！

2023年1月～3月は下記日程で開催します。

第10回	2023年1月27日 (第4金)	19:00～20:30	開催：事務局・ZOOM
第11回	2023年2月24日 (第4金)	19:00～20:30	開催：事務局・ZOOM
第12回	2023年3月17日 (第3金)	19:00～20:30	開催：事務局・ZOOM

海野敦氏 (県組織増強委員長)

表紙写真の提供：佐野 崇氏 (㈲アテネスタヂオ・富士宮支部)